

## 第6学年 ロマンタイム（総合的な学習の時間）学習指導案

日 時 平成23年11月16日（水）5校時

児 童 男子21名 女子30名 計51名

指導者 猪澤 真 熊谷 祐子

場 所 第6学年オープンスペース

1 単元名 『平泉のために、自分ができること』～②続・平泉のためにできること

### 2 単元を展開するにあたって

#### (1) 児童の実態

- ・児童は、全体で「平泉のために」というテーマをかかげ、グループごとに計画に沿って活動を行ってきた。自分は何ができるか、どのように接したらよいのかなどを考えながら多くの人にかかわったりふれあったりしてきた。それにより、さらに具体的な自分の思いをふくらませてきている。これらの活動を通し、自分の思いをもつことや、人とのかかわり方が身に付いてきている。また、KJ法やワークショップ型の話し合いを通じて、仲間と十分に意見を交換できるようになってきている。
- ・児童は、失敗を恐れず自ら人とかかわったり地域のために活動したりできるので、学年のテーマに沿って、意欲的に活動することが予想される。しかし、情報を分析する力、表現する力、自分を振り返る力が十分に身に付いていないので、今後は、自分達が集めた情報を分類・整理することや適切な表現方法を考えながらまとめた事実や考えを発表することを課題としている。

#### (2) 単元について

- ・「自分達が地域のために何かできることはないか？」これが児童の出発である。ここから、地域を細分化し、人（高齢者・幼児）、環境、産業のグループに分かれ活動を展開してきた。自分達が地域のためにできることをしたいと考え展開しているので、意欲的な活動となっている。今後、平泉への愛着を深めながら活動を行うとともに、自分や自分の思いの変容に気付くことができるであろう。この単元を通して、児童の地域への愛着心や貢献しようとする気持ちを育てたいと考える。
- ・1学期に展開された第1小単元では、各グループが計画を立て活動に取り組み始めた。2学期に引き続き展開している第2小単元では、児童の活動が探究的なものになるようじっくり取り組める時数を確保している。児童がじっくり取り組む中で試行錯誤しよりよい活動や方法がないか考えながら展開できるように配慮した。また、自分をみつめ自分の変容を感じられるようにと考えている。活動報告会をこの小単元のゴールとし、収集した情報や重ねた思いをまとめたり適切な方法で表現したりさせる。3学期の第3小単元では、活動報告会で得た地域の方からの意見や思いをもとに、自分の思いを整理させ発信させていく。

### (3) 指導にあたって

児童の興味・関心に基づくスタートとなるよう、無理に活動グループを縮小しないようにする。校外での安全面などの支援は、学校支援ボランティアの協力を得ることでカバーする。

グループ活動を中心に展開していくが、継続的に自分の思いを振り返らせることで、児童個々の思いが明確になるような展開に考慮していく。

児童の活動が探究的なものとなるよう、じっくり活動できる時数を確保する。情報収集手段としてインターネットの活用もあるが、自分の脚で情報を収集するスタンスを大切にしたい。

児童自身に訪問先へのアポイントメントをとらせるなど、自主的な活動となるよう配慮する。

単元の中にブレーストーミングや KJ 法、ワークショップ型の話合いなど、今後も生きて働く協同作業の手段を身に付けさせる。その指導の際に児童に話型は要求せず、気軽に話し合える雰囲気を大切にしたい。

活動報告会に向け、相手意識と目的意識を確認させ、適切な表現方法を考えさせる。

#### 【手立て1 自分の思いをもたせる工夫】

自分の思いをもって活動できるように、工夫した学習シートを準備し継続的に記入させていく。シートには活動後に自己評価の欄を設け、毎回自己評価をしながら次の活動に取り組ませる。児童の振り返りを適時にフィードバックさせ、自己の意識を保持せたり変容に気付かせ意欲化を図ったりする支援に努める。

また、交流する機会には、お互いのよさに気付かせたり自分の思いを見直したりすることができるように支援する。

#### 【手立て2 目的に応じた表現活動をさせる選択】

学年全体での活動報告会に向け、各グループの活動と集約した思いを理解する機会を設定する。また、報告する相手と目的も理解したうえで伝える表現方法を考えさせ、報告会の準備をさせる。

#### 【手立て3 思いを広げ、深めるための伝え合う場の設定と学習形態の工夫】

学年全体が同じテーマで学習していること、同じ目的でグループが活動していることを踏まえ、ペア、グループ、全体と、目的に応じて形態を変えながら伝え合う場を設定する。

## 3 単元の目標と育てたい力

自分たちの住んでいる地域に興味・関心をもち、「平泉のために自分ができること」という課題追求を通して、人とのかかわりを大切にしながら、自分ができることを考え、地域に貢献しようとするすることができる。

#### 【学ぶ力】

- ・平泉の文化、史跡、現状に興味・関心をもち、課題を設定することができる。
- ・視点を明確にして情報を収集したり適切に分類・整理したりすることができる。
- ・調べた事実と自分の考えを関連付けて地域に向けた効果的な発表ができる。
- ・自分の思いや願いをもち主体的に活動しようとするすることができる。

#### 【かかわる力】

- ・地域の方々の考え方を尊重しながら、主体的に情報収集したり意見交換したりすることができる。

#### 【生かす力】

- ・探究活動を通して、地域の一員として積極的にかかわろうとすることができる。

4 単元の計画 (本時 32 / 40 時間)

時期	過程	主な学習活動 (時数) と予想される児童の思考	教師の支援	育てたい力 (評価規準と方法)		
				学ぶ力	かかわる力	生かす力
8月 9月	つかむ 3	<p>○前単元までの活動を振り返り、KJ法により各グループで今後の活動の方針を立てる。ワークショップで各グループの方針を発表し合い、方針についての意見交換を行ったり教師から助言を受けたりする。(1)</p> <p>○もっと、色々な人に平泉の名物の人気について調べてみたいな。 ○情報が少ないから、もっとたくさんの情報を集めたいな。</p> <p>○前時の活動をもとに、活動の計画を立てる。(1) ○活動計画における時間の配分を考える。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ法について想起させる。</li> <li>・模造紙への記述の仕方を確認する。</li> <li>・各グループの方針について助言する。</li> <li>・計画立案について助言する。</li> <li>・活動時間について助言する。</li> </ul>	<p>前単元の活動から、新たな課題に結び付けて課題を設定したり計画を立てたりしている。 (発言・シート・付箋紙)</p>	<p>友だちと協力して作業を進めている。 (活動)</p>	<p>話し合いから、自分の思いや考えを広げている。 (活動・シート・付箋紙)</p>
10月 11月	しらべる 27	<p>○立てた計画をもとに、グループごとに活動を行う。(27)</p> <p>・やっぱり、知らない人に声をかけるのは勇気があるな。 ・駅前だけでなく、中尊寺方面の方が観光客はいそうだよ。 ・外人さんにも聞いてみたいね。英語ではなんて質問すればいいのかな。そういえば、平泉に外国からお嫁さんに来ているローズマリーさんがいたよね。教えてもらおうか。 ・かなり、慣れてきたぞ。よし、どんどん情報を集めるぞ。 ・みんなで集めた情報を分類したら、ランキングが分かったぞ。 ・人気のある名物を紹介するパンフレットを作って配ろう。 ・パンフレットを配った効果はあったのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アポイントメントの方法について指導する。(電話での事前連絡方法、マナー等)</li> <li>・パンフレット作りでは、6年生の国語の単元を生かすようにさせる。</li> <li>・リーダーだけの活動とならないよう、グループ内で役割分担を明確にさせる。</li> <li>・長期にわたって活動を継続させることができるので、常に各グループはもちろん、個人の課題や目標、活動のあり方についても、常に振り返りながら活動させる。(フィードバック、シートの工夫)</li> <li>・出かける前には、常に安全指導を行う。</li> </ul>	<p>課題解決のための視点を明確にして、訪問、調査、体験により情報を収集している。 (活動・シート)</p> <p>活動して得た情報や考えをもとに、さらに取り組みたい課題を設定している。 (発言・シート)</p>	<p>自分の課題を解決することができるように、進んで地域の方々とかかわり、ふれあいをもとうとしている。 (活動・発言)</p> <p>地域の一員として目的をもって繰り返し活動している。 (活動)</p> <p>グループの仲間と意見交換したり相談したりしながら情報収集したり活動したりするとともに互いに高め合おうとしている。 (活動・シート・発言)</p>	<p>思いや願いを高めながら課題に向かって主体的に活動しようとする。 (活動・シート・発言)</p> <p>これからの自分作りに向けて地域の一員として積極的にかかわっている。 (活動・シート・発言)</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">12月</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる 7</p>	<p>○自分達の活動を通して分かったことや感じたこと・考えたことについて、まとめる。 (3) (本時2/3)</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、○○なことが分かったぞ。</li> <li>・初めのころの私は、あまり積極的にインタビューできなかったけれど、かなりできるようになったわ。</li> <li>・平泉のために少し役に立てたかな。</li> <li>・グループの仲間も同じことに気が付いていたんだね。</li> <li>・もっと、○○すればいいのかもしれない。</li> </ul> </div> <p>○発表相手を意識した表現方法を選択し、発表の練習を行う。 (4)</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手は、○○さんだから……。</li> <li>・表を作って見てもらった方がいいんじゃないかな。</li> <li>・円グラフの方が割合は、分かりやすいよ。</li> <li>・ここで、説明を入れたほうがいい。</li> <li>・活動していた写真を見せれば様子が伝わりやすいよ。</li> <li>・ナレーションを入れたほうがいいかも。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の内容、結果、考え、感想などを関連付けたり明確に分けたりさせながらまとめさせる。</li> <li>・グループのまとめに応じて、適切な表現方法について考えさせながら選択させる。</li> </ul>	<p>情報を分類・比較して、自分の思いや考えをもっている。 (活動・シート)</p> <p>自分達の考えたことや感じたことを事実と関連付けて発表内容を構成している。 (発表準備資料)</p>	<p>グループの仲間と意見交換したり相談したりしながらまとめたり練習したりしている。 (活動・シート・発言)</p>	<p>自分の考えや感想をまとめる。 (シート・発言)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ひろげる 3</p>	<p>○地域の方々へ向けて発表を行う。(2) ○活動を振り返る。(1)</p>	<p>○書きためたシートをもとに振り返らせ、自分の思いの変化や成長について気付かせる。</p>	<p>構築した構成内容で発表している。 (発表)</p> <p>身に付いた力や新たに気付いたことをまとめることができる。 (シート)</p>	<p>これまでの学習に対して、感謝の気持ちをもって手紙を書いている。 (手紙)</p> <p>友だちの活動のよさや考えのよさを認め合っている。 (発言・シート)</p>	<p>地域の中でよりよい生き方を考え、地域の人に提案している。 (発表)</p> <p>学習を振り返り、身に付いた力についてまとめた次回の活動を考えたりしている。 (シート・発言)</p>	<p>地域の中でよりよい生き方を考え、地域の人に提案している。 (発表)</p> <p>学習を振り返り、身に付いた力についてまとめた次回の活動を考えたりしている。 (シート・発言)</p>



4 グループで意見交換を行い、まとめの資料を作成する。

例：今ある名物を有名にしたいグループ

ぼくは、〇〇の認知度が高いことが分かったよ。

私も、〇〇の認知度が高いことが分かったよ。

〇〇系の言葉が入っている商品は人気が高かったね。

でも、平泉で作られたものは、意外に少ないことも分かった。

そうそう、ぼくも同じことに気が付いていたよ。

平泉でとれたものを材料にすればいいのにな。

5 本時の学習を振り返る。

- (1) 評価項目に沿って振り返る。
- (2) 教師からの評価を聞く。

6 次時の活動の確認をする。

次時からはグループで発表する計画を立てることを知る。

グ

【手立て3】

- ・KJ法
- ・ワークショップ型形態

・意見交換とまとめの視点に沿ってグループに応じた助言を行う。

<かかわる力>

グループの仲間と意見交換したり相談したりしながらまとめている。

(活動・発言)

グ  
個

・グループで相互評価を行わせ、成長した点、次につなげることができる点に気付かせる。

全